



令和5年度（2023年度）

# 北海道農業・農村の動向

令和6年（2024年）6月

北海道

## はじめに

本道の農業・農村は、先人のたゆみない努力により、厳しい気象条件を克服しながら発展を続け、今日では、豊かな自然と広大な土地を活かして、大規模で専門的な農業経営を展開し、安全・安心で良質な食料を安定的に生産・供給するとともに、食品加工や観光などの産業と深く結びつき、地域の経済や社会を支える基幹産業として重要な役割を担っています。

また、洪水の防止や水源のかん養、美しい農村景観の形成など、国土や環境を保全する多面的な機能を発揮しながら、私たちの生活に豊かさとうるおいをもたらしています。

近年、世界的な人口増加による食料需要の増大や気候変動による異常気象の頻発、さらには、様々な国際情勢の変化など地政学リスクの高まりに伴い、世界の食料生産・供給が不安定なものとなっており、我が国の食料安全保障に関わる課題が顕在化しています。こうした中、令和6年5月、食料安全保障の強化などを柱として「食料・農業・農村基本法」が改正されるなど、カロリーベースで国内の食料生産の4分の1を占め、我が国最大の食料供給地域である本道に期待する役割と責務がますます大きくなっています。

一方、道内においては、燃油や肥料、飼料といった生産資材の価格高騰や農作物等に影響が及ぶ夏期の記録的な高温、高病原性鳥インフルエンザの発生など、大変厳しい状況が続いており、本道の農業・農村が持続的に発展していくためには、こうした課題やリスクに的確に対応していくことが求められています。

道としては、北海道農業・農村振興条例に基づき策定した「第6期北海道農業・農村振興推進計画」のもと、「多様な担い手と人材が輝く力強い農業・農村」の実現を目指し、将来の本道農業を担う人材の育成・確保はもとより、生産基盤の整備の推進やスマート農業の加速化、環境と調和した農業の推進、国内外の食市場への販路拡大、活力ある農村づくりなどの施策について、道民の皆様にご理解をいただきながら、総合的かつ計画的に推進することとしています。

本道の農業・農村をかけがえのない財産として大切に守っていくため、道が令和5年度（2023年度）に講じた施策や最近の動きなどを取りまとめた本書をご活用いただき、より多くの皆様が本道の農業・農村への関心と理解を深め、そして、力強い応援団となっただけのをお願いしています。

令和6年(2024年)6月

北海道知事 鈴木 直道

令和5年度（2023年度）

農業・農村の動向等に関する  
年次報告

令和6年第2回北海道議会定例会提出

## 目 次

## 第1部 北海道農業・農村の動向

## 第1章 北海道農業・農村を取り巻く情勢

1 本道農政に関するトピックス-----	1
トピックス1 食料安全保障の強化と食料・農業・農村基本法の見直し-----	1
トピックス2 生産資材価格等の高騰の影響と農業者への支援-----	4
トピックス3 地球温暖化や記録的な高温による農作物への影響とその対応-----	6
トピックス4 高病原性鳥インフルエンザの発生と発生防止対策-----	9
2 我が国の社会経済情勢と農業・農村-----	11
(1) 社会経済情勢-----	11
(2) 農業・農村の動向-----	12
3 食料需給をめぐる動き-----	14
(1) 世界の食料需給-----	14
(2) 我が国の食料需給構造の変化-----	17
(3) 食料自給率向上の取組-----	19
4 国際貿易交渉の動き-----	21
(1) 停滞するWTO農業交渉と加速化する経済連携の動き-----	21
(2) 国際貿易交渉への対応-----	21

## 第2章 北海道農業・農村の概要

1 本道農業の特徴と地位-----	23
2 農業生産の概況-----	28
(1) 令和5年(2023年)の気象状況-----	28
(2) 令和5年(2023年)の農業生産-----	28
3 農村地域の概況-----	30

## 第3章 農業構造

1 担い手の動向-----	32
(1) 農業経営体の動向-----	32
ア 農業経営体数と就業構造-----	32
イ 認定農業者-----	34
ウ 農業法人-----	36
エ 新規就農者-----	38
オ 女性農業者-----	45
カ 農外企業-----	49
(2) 担い手を支える多様な人材-----	51
ア 雇用人材の確保-----	51
イ 農福連携-----	52
ウ 外国人材-----	54
(3) 営農支援組織-----	56
ア コントラクター(農作業受託組織)-----	56
イ TMRセンター-----	57
ウ 酪農ヘルパー-----	57

(4) 農業の国際交流の推進	59
2 農地の動向と土地利用	60
3 担い手への農地の集積・集約化	66
(1) 農地施策の変遷	66
(2) 新たな農地施策の推進	67
(3) 担い手への農地の集積・集約化	69

#### 第4章 主要農産物の生産の動向

1 稲作	71
2 畑作	77
(1) 畑作物の作付動向	77
(2) 小麦	78
(3) 豆類	81
ア 大豆	81
イ 雑豆(小豆・いんげん)	82
(4) 馬鈴しょ・馬鈴しょでん粉	86
(5) てん菜・砂糖	91
(6) その他	95
ア そば	95
イ 特用作物	96
ウ 薬用作物	97
3 園芸	98
(1) 野菜	98
(2) 花き	104
(3) 果実	107
4 畜産	111
(1) 牛乳・乳製品	111
(2) 牛肉	119
(3) 豚肉	123
(4) 鶏卵・鶏肉	124
ア 鶏卵	124
イ 鶏肉	126
(5) 馬	127
(6) その他の畜産	129
ア めん羊	129
イ 蜜蜂	129
5 飼料作物	131

#### 第5章 環境と調和した農業の動向

1 みどりの食料システム戦略とゼロカーボン北海道の実現	135
(1) みどりの食料システム法に係る戦略の推進	135
(2) カーボンクレジットの創出	136
(3) 環境負荷低減の取組の「見える化」	137
(4) カーボンファームの推進協議会	137
2 クリーン農業・有機農業	140
3 農村環境の保全と資源リサイクル	146

4	エゾシカ等による農業被害の防止	148
<b>第6章 農業・農村の基盤整備と技術の開発・普及</b>		
1	農業・農村の整備	149
(1)	農業農村整備の展開方向	149
(2)	農業生産基盤の整備	149
(3)	農地保全と施設管理	153
(4)	農村地域の生活環境整備	155
(5)	農村環境の保全・再生	155
(6)	事業の推進とコスト縮減	157
(7)	農業農村整備事業に係る地元負担の状況	159
2	農業技術の開発・普及	160
(1)	道総研農業研究本部等による技術開発	160
(2)	普及活動の推進	165
(3)	スマート農業の推進	167
<b>第7章 食の安全・安心と農産物の流通・加工</b>		
1	道産食品の安全・安心の確保	172
2	GAP（農業生産工程管理）	175
3	植物防疫対策	176
4	家畜衛生対策	180
5	農産物の流通の動向	186
6	食料品製造業の動向	188
7	道産農産物・食品の販路拡大と輸出	190
(1)	販路拡大	190
(2)	輸出	190
8	関連産業との連携の強化	193
9	地域資源を活かした6次産業化の推進	194
<b>第8章 農業経営の動向</b>		
1	農家経済の動向	197
(1)	農業経営体の経済概要	197
(2)	農業制度資金の活用	198
2	営農類型別農業経営の動向	200
(1)	水田作経営	200
(2)	畑作経営	202
(3)	酪農経営	204
(4)	肉用牛経営	210
3	農業生産資材の動向	215
(1)	農業生産資材をめぐる情勢	215
(2)	種苗	216
(3)	配合・混合飼料	218
(4)	農業機械	220
(5)	肥料	221
(6)	農薬	222

**第9章 農業関係団体の動き**

1 農業協同組合	223
2 農業共済組合	229
3 土地改良区	232
4 農業委員会・農業会議	234

**第10章 活力ある農村と道民理解**

1 農業・農村の多面的機能の発揮	236
2 農業・農村とのふれあいの場の提供	239
(1) 都市と農山漁村の共生・対流	239
(2) 農村ツーリズム	240
3 愛食運動の展開	243
(1) 地産地消	243
(2) 食育	246
(3) 食品ロスの削減	248
4 農業・農村への道民理解	250

**第2部 農業・農村の振興に関して講じた施策****I 施策の基本方針と施策の重点**

第1 施策の基本方針	253
第2 施策の重点	254
1 持続可能で生産性が高い農業・農村の確立	254
2 国内外の需要を取り込む農業・農村の確立	254
3 多様な人材が活躍する農業・農村の確立	255
4 道民の理解に支えられる農業・農村の確立	255

**II 農業・農村の振興に関して講じた施策**

第1 持続可能で生産性が高い農業・農村の確立	256
1 生産基盤の強化	256
(1) 農業生産基盤の整備の推進	256
(2) 優良農地の確保と適切な利用の促進	260
(3) 戦略的な技術の開発と普及・定着	260
2 安全・安心な食料の安定生産の確保	261
(1) 安全・安心な食品づくりの推進	261
(2) 食料等の安定生産体制の整備	262
3 環境と調和した農業の推進	265
(1) 環境保全型農業の推進	265
(2) 鳥獣による農作物等被害防止対策の推進	265

<b>第2 国内外の需要を取り込む農業・農村の確立</b>	
1 国内外の食市場への販路の拡大 -----	266
(1) ブランド力の強化 -----	266
(2) 農産物等の輸出促進 -----	266
2 地域資源を活かした新たな価値の創出 -----	267
(1) 地域ぐるみの6次産業化の推進 -----	267
(2) 関連産業との連携の強化 -----	267
<b>第3 多様な人材が活躍する農業・農村の確立</b>	
1 農業経営体の安定・発展 -----	268
(1) 家族経営などの経営体質の強化 -----	268
(2) 組織経営体の育成・発展 -----	268
2 農業経営を担う人材の確保・定着 -----	268
(1) 新規就農者の育成・確保 -----	269
(2) 経営感覚を備えた農業経営者の育成 -----	269
(3) 地域をリードする女性農業者の育成 -----	269
3 地域で経営体を支える組織の育成・強化 -----	269
(1) 営農支援組織の育成・強化 -----	270
(2) 農業団体の機能の充実 -----	270
4 地域農業を支える多様な人材の活躍 -----	271
(1) 誰にとっても働きやすい環境づくりの推進 -----	271
(2) 多様な人材の受入 -----	271
5 快適で安心して暮らせる生活の場づくり -----	271
(1) 所得と雇用機会の確保 -----	271
(2) 快適で安全な生活環境の整備 -----	272
<b>第4 道民の理解に支えられる農業・農村の確立</b>	
1 愛食運動の総合的な展開 -----	273
(1) 食育の推進 -----	273
(2) 地産地消の推進 -----	273
2 地域住民が一体となって創る活力ある農村 -----	274
(1) 地域住民による農村づくり -----	274
(2) 多面的機能の発揮促進 -----	274
3 道民コンセンサスの形成 -----	274
(1) 都市・農村交流の促進 -----	275
(2) 農業・農村の魅力の発信 -----	275
<b>第5 地域農業・農村の「めざす姿」に向けた主な取組</b>	
1 空知地域 -----	276
2 石狩地域 -----	276
3 後志地域 -----	277
4 胆振地域 -----	278
5 日高地域 -----	278
6 渡島・檜山地域 -----	279
7 上川地域 -----	280
8 留萌地域 -----	281



9	宗谷地域	282
10	オホーツク地域	282
11	十勝地域	283
12	釧路・根室地域	284

## 参考資料

	北海道農業・農村振興条例	285
	第6期北海道農業・農村振興推進計画の概要	289
	用語の解説	301

## 《事例紹介》

1.	伝統の「青年農業者会議」第73回大会は300人が参加！	35
2.	いぶり就農フェアを開催（胆振）	41
3.	ひだか・ホース・フレンズによる軽種馬担い手対策支援（日高）	44
4.	女性農業者の活動推進に向けて	47
5.	女性農業者限定でスマート農業の体験研修を実施しました！	48
6.	企業の農業参入を推進	50
7.	退職予定の自衛官を対象とした農業PRの取組（上川）	51
8.	農業の人材確保 お助け情報サイトを開設	52
9.	カーネーション栽培における農福連携の可能性を検討（渡島）	53
10.	遊休農地と荒廃農地について	65
11.	米粉の利用拡大に向けた取組	75
12.	－北海道米でつくる－日本酒アワード2023	76
13.	管内産豆類の消費促進へ（オホーツク）	85
14.	ICT活用で種馬鈴しょの労働負担を軽減（檜山）	90
15.	トラックドライバーの産地間連携	94
16.	新顔作物の需要拡大に向けた取組	101
17.	北海道ワイン用ぶどう生産力向上講習会を開催	110
18.	SNSを活用した牛乳乳製品の情報発信を実施	117
19.	酪農や牛乳乳製品をPR（宗谷）	118

20. 全国和牛能力共進会の開催が決定	122
21. 草地の植生改善に向けた取組	133
22. 草地改良時期の分散化（根室）	134
23. 北海道の持続可能な米づくり（環境負荷低減）の取組	138
24. 北海道カーボンファーマーミング推進フォーラムを開催	139
25. とかちオーガニック振興会による有機農業の推進（十勝）	144
26. 河川掘削土等を活用した客土材としての検討	152
27. 農業用ため池の防災・減災対策	154
28. 農業農村整備事業におけるゼロカーボンの取組	156
29. 農業農村整備での情報発信事業（ICT）の活用	158
30. 多収米「そらきらり」の作り方	164
31. 堆肥と肥料がひとつに！複合肥料の活用法	164
32. 地域農業の変化に対応した普及活動	166
33. 農業改良普及センターにおけるスマート農業技術の普及	169
34. 空知スマートアグリシンポジウム2023（空知）	170
35. 後志におけるスマート農業導入の推進（後志）	171
36. 北海道指定有害動植物等総合防除計画を策定	179
37. アフリカ豚熱の脅威	182
38. 道産農産物等の輸出拡大に向けた取組	192
39. 色素用紫さつまいもの安定生産と新たな特産品創出の支援（留萌）	196
40. 農業保険の加入を促進	231
41. 農業水利施設の電気料高騰に対する支援を実施	233
42. 道北地域の教育旅行受入を実現	242
43. 民間企業と連携した北海道米の消費拡大の取組	245
44. 「農」と「食」を繋ぐ多様なサポートづくり（石狩）	247
45. 東京ソラマチでの「北海道るもいフェア」開催（留萌）	249
46. 牛乳・乳製品魅力発信パネル展（釧路）	252